

アートは“かがやき” 北陸新幹線福井開業記念

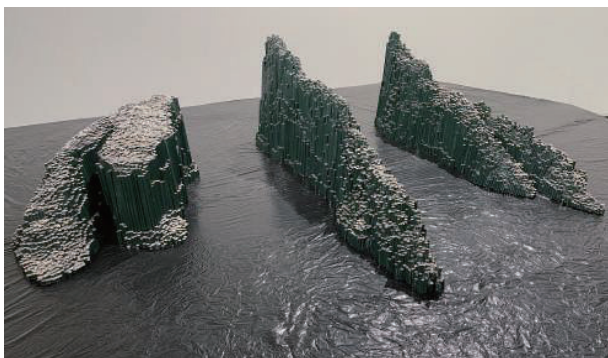
## アートドキュメント 2024 岩崎 貴宏

いわさき たかひろ

12月15日(日)まで 好評開催中!

タオルや歯ブラシなど、生活用品を素材にその土地の風景と繋がる繊細で小さな見立ての世界をつくりだす美術作家の岩崎貴宏さん。身近な福井の風景が登場しています!その風景を探しにご来場ください。

鉛筆の東尋坊!?



《柱状節理(東尋坊)》(部分) 2024 年/鉛筆/サイズ可変

地球のエネルギー活動で地上に現れた柱状節理(ちゅうじょうせつり)と呼ばれるかたちを、六角形の鉛筆を使い、見立ての風景として出現させました。黒く波打った海は農業用のビニールシートで表現しています。

アップルパイも登場

## 企画展コラボレーションスイーツ NewYork アップルパイ

単品 750円 ドリンクセット 1,000円  
森のキッチン・エフにて提供中



アメリカの天文学者の言葉に由来する印象的な展覧会名にちなみ、アメリカのスタンダードなアップルパイをレストランオリジナルで作りました。クッキー生地ザクザク触感をお楽しみください。

【日時】12月上旬～2025年1月下旬(予定)  
随時開催(所要時間1時間程度)  
ガラス工房手作りのため、数に限りがございます。  
【料金】2,300円(1作品・材料費・税込) 予約優先  
【予約・詳細問合せ】ガラス工房 TEL.73-7801  
◀写真は今年の干支・辰の絵付け作品(参考写真)▶



冬季  
限定

ガラス工房

干支  
絵付け

来年は  
巳年

●(公財)金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800 休館日/月曜日(祝日の場合開館、翌平日休館)  
●森のキッチン・エフ TEL.37-4326 定休日/月・火曜日(祝日の場合営業、翌平日休業)



もし、アップルパイを  
最初からつくろうと思うなら、  
君はまず宇宙を作らなきゃ



会場/金津創作の森美術館 アートコア  
時間/10:00-17:00(最終入場16:30)  
観覧料/一般600円(400円)、65歳以上・  
障がい者300円、高校生以下・障がい者の  
介護者(当該障がい者1人につき1人) 無料

※( )は20人以上の団体料金

助成/一般財団法人自治総合センター  
公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団



あわらの町が消しゴムに



《アウト・オブ・ディスオーダー(ポスト人新世)》(部分) 2024 年/  
日用品、清掃用品など/サイズ可変

消しゴムや定規などの文房具を使って作られたカラフルな町。実は、あわら市内を上から見下ろした風景で、市役所や学校など馴染みのある場所が登場しています。あなたの住む家が見つかるかも!?

## 自由に奏でるあわらのビート

◆10月6日(日) 新郷小学校



## 世界の舞台で全力尽くす

◆10月7日(月) 市役所



カヌーボロ世界選手権大会出場選手の激励会が行われ、金津高等学校3年の近馬 大和さん、中嶋 謙太さん、山川 和彦さんが出席しました。近馬さんは「得意なプレーでチームに貢献したい」、中嶋さんは「昨年より成長したプレーを見せたい」、山川さんは「初出場の世界大会で、初めてなりに結果を出したい」と力強く語ってくれました。

## 異文化を肌で感じて

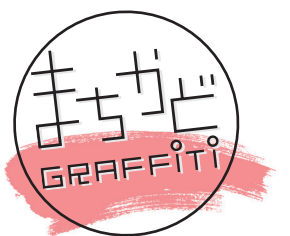
◆10月25日(金) 金津本陣 IKOSSA



米国に派遣する中高生12人の国際交流団壮行式が行われました。11月3日から10日間の日程でオレゴン州ユージン市を訪問し、ホームステイをしながら姉妹校であるケリーミドルスクールや、ノースユージン高校の生徒らと交流します。

甲斐教育長は「言葉や文化の違いを肌で感じてきてください。そして、あわら市の良さも伝えてきてください。」と激励の言葉を送りました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします!



音楽や美術作品に自由に触れる「あわらビート」が開催され、多くの親子連れが参加しました。元ロックバンド「THE BLUE HEARTS」のドラマー梶原 徹也さんによるリズムワークショップでは、子どもたちがごみ箱とガムテープで小さな太鼓を作り、梶原さんの叩くリズムを真似るように一生懸命太鼓を叩いていました。

梶原さんは、「あわらの子どもたちはとても元気で、ノリが良い。」と印象を語り、参加者と音楽の楽しさを共有していました。

## 社会人から学ぶ、地元就職の魅力

◆10月10日(木) 金津高等学校



高校2年生を対象に、地元で働く社会人とのグループワークを通して、ふるさと愛や地元就職の良さを感じてもらおうと、「アズAS☆×地域(まち)の担い手づくりプログラム」が開催されました。生徒の皆さんは自身の進学やキャリアの参考にしようと積極的に質問していました。

ホームページ▶



## 羽根田選手が伝えるカヌーの楽しさ

◆10月27日(日) 竹田川河川公園



カヌー・スラローム競技でオリンピック銅メダリストの羽根田 卓也選手とライフセーバーの飯沼 誠司さんを招いたカヌー体験会が開かれました。市内外から約50人が参加し、羽根田選手からはカヌーの直接指導を、飯沼さんからは水辺の安全講習を教わりました。羽根田選手からオリンピックの貴重な話が聞けたほか、子どもたちに向けて「何ごとにも楽しさを見出す感性を大事にしてほしい。」とメッセージがありました。